

2026 年度外国学校卒業学生特別選考小論文問題（第 2 種）

2026 年 2 月 25 日 9 時 30 分～12 時

(注意) 解答は、A・B それぞれ解答用紙 1 枚で解答すること。

科 類	理科二類
-----	------

受験番号	G					
------	---	--	--	--	--	--

※上欄に、受験番号を記入しなさい。

A（日本語で解答する問題）

農学はこれまで、熟練した生産者の現場観察や長年の経験に基づく知見を重視して発展してきた。一方、近年では、急速に発展した人工知能（AI）技術が、農業分野においても収量予測、病害診断、育種、農作業の自動化などへ応用されつつある。こうした AI を活用したデータ駆動型農業では、大量のデータに基づく判断や予測が重視される。まず、「経験に基づく農学」と「データに基づく AI 農学」を比較し、それぞれが優れている点を一つずつ挙げなさい。さらに、それを踏まえて「データに基づく AI 農学」のさらなる発展に向けて克服すべき課題とその対策について、あなたの考えを論じなさい。

B（出願時に選択した日本語以外の言語で解答する問題）

新型コロナウイルス感染症では、嗅覚障害が比較的高い頻度で生じることが知られている。しかし、その発症頻度は地域や人種によって異なることが報告されている。こうした違いが生じる背景には、さまざまな要因が関与していると推測される。嗅覚障害の地域差・人種差がなぜ生じるのか、考えられる生物学的仕組みについて説明しなさい。